



■活動日：2017年11月04日（土） 10：00～14：30

■参加者：チーム神於山 正会員 6名

■活動内容

- ・10月は、秋雨前線と台風21・22号の影響で全く活動出来なかったことから、臨時活動として、4日（土）に、有志6人で入山し、台風の被害をチェックした後、先日降ろした二つのフクロウの巣箱に、雛を取り出しやすくするための窓を取り付けました。
- ・事前に、神於山保全くらぶの田口さんや、岸和田市建設部水とみどり課の黒見さんから、台風21号の豪雨で、林道に土砂が崩落し、通行止めになっていると聞いていたので、第2園路から徒歩で入山するつもりで、いつもの集合場所で装具を整え出発したのですが、第2園路に入る前に、土砂崩れの状況を見に行こうということになり、先ずいつも通るウバメガシ地蔵（愛彩ランド）側の登山口に向かいました。
- ・林道入口のゲート付近には「土砂崩落のため通行止め」の立て看板が架けられていて、土砂崩落は、その数十メートル先の緩やかなS字カーブの分部で起きていました。
- ・ラッキーだったのは、既に岸和田市により、林道上の土砂が取り除かれていたことと、土砂崩落は、入り口近くの一ヶ所だけだったことで、そのまま林道経由でシャープの森に行くことが出来ました。
- ・神於山シャープの森の台風被害は、これも事前に岸和田市の黒見さんと、先行して状況確認をされた北浦さんからの頂いた情報通り、多目的広場が、豪雨で基地から暗渠に向かい部分的に陥没していたことと、竹林への通路に倒木が被さっていたこと位で、看板も、シタケの櫓木も無事でした。
- ・活動頂いた6人のメンバーの皆さん、お疲れ様でした。

■次回活動予定

- ・新たに3個巣箱を作り、継続使用する2個と合わせ 合計5個の巣箱にカメラを取り付けるなど、巣箱を完成することに全力を挙げます。
- ・余力があれば、竹林に入る通路の倒木の除去や、果樹を植える場所や、竹林から基地に[竹を楽に運ぶ方法]を検討したいと思っています。

■活動風景：巣箱への窓の取り付け

いつも通りワイワイがやがや話し合いながら進めました。



慎重に採寸



角にドリルで穴を開け引き回し鋸で切り取り



上蓋切り



作業はこんな感じで

- ・巣箱は縦に長い構造ですから、フクロウのDNA調査サンプル採取を担当頂いているバードレスキュー協会の村濱さんには、巣箱から雛を取り出す際、大変ご苦労をお掛けしていました。
- ・そこで今回は、これを改善する為、巣箱の横に窓を開けることにしたのですが、巣箱を木を背負うような形で架ける場合と、枝に載せるような形で架ける場合で穴を開ける面が変わることから、先ずどの面に窓を開けるかで喧々諤々…
- ・面が決った後は、穴の大きさをどれくらいにするかでまた喧々諤々…
- ・それが決ると、右開きか左開きか、上開きか下開きかで更に喧々諤々…
- ・結局雛鳥の取り出しは右手で行われることから、いずれも右開きにし、木を背負う場合は向かって左の面に、枝に載せる場合は、正面に窓を取り付けることに落ち着きました。
- ・窓の底面は、雛が落ちないように、巣箱の底から20cmの高さに設定しました。
- ・窓は、窓より大きい板でふさぐような形にし、蓋が湿度で伸び縮みしても支障がない様にしています。

■窓が完成してニコリ。

いつも通りワイワイがやがや話し合いながら完成しました。



木を背負うタイプ



枝に載せるタイプ



- 年内は、フクロウの棲む森づくりが最優先です。
- 今回のテーマは、2017年に20mという極めて近い巣箱に営巣したのは、そこにしか営巣できる環境が無かった為か、別の理由によるものかを見極めることに有ります。
- 従い、昨年ダブル営巣した巣箱二つは同じ位置に架け、そこよりも離れた場所に、新しく作る3個の巣箱を架ける予定です。
- フクロウがどの巣箱を選ぶか、結果が楽しみです。

■林道の土砂崩落現場

既に岸和田市により、土砂は撤去されていました。



ウバメガシ地蔵（愛彩ランド側）登山口の状況



土砂崩れの現場 円の部分の護岸の石が流れている。

■多目的広場の陥没現場

イノシシが掘り返し、基地から暗渠方面に向け、数カ所陥没しています。



イノシシが掘り返した跡



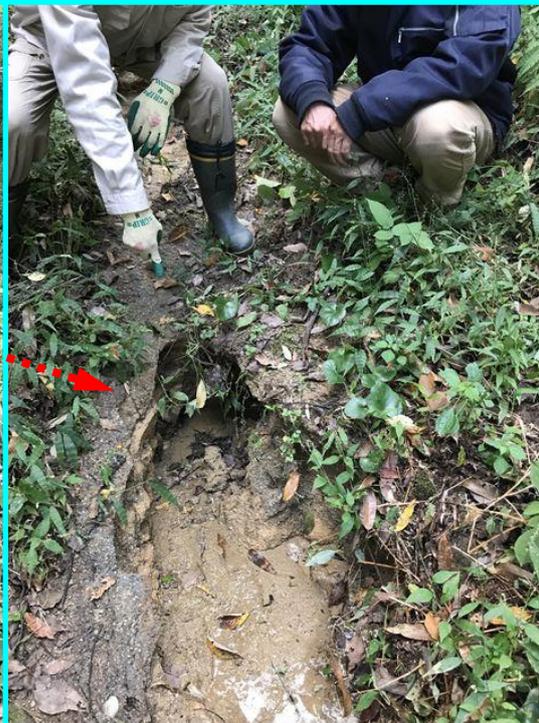
陥没の状況。基地から暗渠方面に列状に続いています。



一番大きい陥没痕。雨水は、草の根で覆われた表土の下を伏流水の様に流れ、弱い所を陥没させた様です。

■上部植栽地に向かう作業道に水が流っていました。

ここは元の沢筋ですから不思議ではないですが…



- 上部植栽地への通路も、多目的広場と同じ様に部分的に陥没していました。
- 作業道は、元々沢筋ですから、雨水が流れてもおかしくありませんが、少量ですが陥没したように掘れ込んだ部分から水が湧くように流れ出していたのには驚きました。
- 沢筋は天然のトコのようなものですから、途中で雨水だまりを作れば、立派なビオトープが作れます。
- 水の確保が悩みですから、なぜか楽しくなる話ですね。